

2025年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

専門科目 中国語学中国文学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

2025年度

成績

大学院文学研究科博士課程前期 2 年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

専門科目（中国語学中国文学 専攻分野）

一、次の文章は、羅大経『鶴林玉露』から取つたものである。問題文の左側に、現代仮名遣いによる書き下し文と現代日本語訳を、それぞれ記しなさい。なお、問題文は1頁から3頁まである。

趙昌父云：「古人以學爲詩，今人以詩爲學。」夫以詩爲學，自唐以來則然。如嘔出心肝，指擢眉臂，此生精力盡於詩者，是誠弊精神於無用矣。乃若古人，亦何嘗以學爲詩哉！今觀國風，間出於小夫賤隸婦人女子之口，未必皆學也，而其言優柔諱切，忠厚雅正。

後之經生學士，雖窮年畢世，未必能措一辭。正使以後世之學爲詩，其胸中之不醇不正，必有不能掩者矣。雖食者賦康詩，任者賦隱逸詩，亦豈能逃議者之眼哉！如白樂天之詩，曠達閒適，意輕軒冕，孰不信之？

然朱文公猶謂：「樂天人多說其清高，其實愛官職，詩中及富貴處，皆說得口津津地涎出。」可謂能窺見其微矣。嗟夫！樂天之言，且不可盡信，況餘人乎！楊誠齋云：「古人之詩，天也；後世之詩，人焉而已矣。」此論得之。

11. 次の三項について、それぞれ一百字程度で解説しなさい。

- ① 『玉台新詠』 ② 古文復興運動 ③ 『儒林外史』

受験記号番号

6 / 6